



活動テーマ	赤坂迎賓館の見学		参加者	6名
実施日時	2016.2.5 (金) 9:30~14:30	活動場所	東京港区元赤坂	

見 学 記

今回の鑑賞の特徴は名画ではなく名建築。9時30分にJR四谷駅集合。10時に入場する予定だったが見学者が多く、11時の入場を余技なくされた。しかし、見学時間が1時間遅くなったことで、昨年迎賓館のガイドをした佐藤さんから、事前学習を近くのカフェテラスで受けることができた。この一角は一見パリの街角のような雰囲気ゆつたりと話を聴くことができた。

迎賓館は明治42年に東宮御所として建築家片山東熊が建築、後に皇室から行政へ移管された。今は国賓として訪れた、国王、大統領、首相などが宿泊、レセプションなど行い、サミットの会場としても使用されたことがある。日本で唯一のネオ・バロック様式の西洋風宮殿建築。絢爛豪華という言葉通りの造りで、当時の欧米に対する片山東熊の気概、日本国民の思いが込められた建築だった。庭園を散策

している時、京都、奈良の日本建築が妙に懐かしく思い出された。見学後、佐藤さんお勧めの秋葉原の鮎屋「銀蔵」でランチを摂った。この店は料理がおいしく値段も安く、個室の為、周囲に気兼ねなく話げできた。迎賓館見学の感想は、「迎賓館は素晴らしいが、落ち着かない。やはり和風の造りの方がいい」「東京にこんな静かで別世界のような所があるとは知らなかった。来てよかった」「この建物



は、当時としては日本を捨てたからできたと思う」「当時日本は欧米に追い付き追い越せの風潮だった」「迎賓館は前々から一度見学したいと思っていたが長年の思いが実現した」などなど。

グループワークの人数は8名位が理想と言われている。今回は6名で少人数ではあつたが、中身の濃い貴重な「赤坂迎賓館の見学」であった。 渡邊敏幸 記

